

2021年2月9日

報道各位

住友林業株式会社

## S&P グローバル社の世界的サステナビリティ格付けにて 最高評価の「ゴールドクラス」に3年連続選定

住友林業株式会社(社長:光吉 敏郎 本社:東京都千代田区)は、世界的な社会的責任投資(SRI)評価会社である米 S&P グローバル社のサステナビリティ格付けで、最高評価の「ゴールドクラス」に3年連続で選定されました。

S&P グローバル社は世界の大手企業約 7,000 社を対象に経済・環境・社会面での取り組みについて評価し、61 業種それぞれ上位 15%の企業を「持続可能性に優れた企業」として「サステナビリティイヤーブック 2021」に掲載。そのうち特に優れた企業をゴールドクラス・シルバークラス・ブロンズクラスとして格付けします。

当社はこの格付けの住宅建設分野において、2008 年以来 14 年連続して「持続可能性に優れた企業」に選ばれており、ゴールドクラスに選定されるのは 6 回目となります。今回「持続可能性に優れた企業」に選ばれた日本企業は 78 社、うち当社を含む 6 社のみがゴールドクラスに選定されました。

当社グループは 2019 年 5 月に発表した「住友林業グループ中期経営計画 2021」で「事業と ESG への取り組みの一体化推進」を基本方針の一つとして掲げています。今後も従来の事業活動で生み出す「経済的価値」に加えて、温室効果ガス排出の抑制、生物多様性保全、労働安全や雇用確保など「環境的価値」・「社会的価値」からなる「公益的価値」を高める経営に取り組み、持続可能で豊かな社会の実現に貢献していきます。

## Sustainability Award Gold Class 2021

### S&P Global

《リリースに関するお問い合わせ》

住友林業株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 渥美

TEL:03-3214-2270 / Eメール:[cocom@sfc.co.jp](mailto:cocom@sfc.co.jp)

以上